

美濃加茂市 山之上小学校にて ぎふ田んぼの学校活動事業を実施しました

農地・農業用排水路等の「農村資源」は、食料生産を担うだけでなく、生態系の保全や気候の緩和等の様々な役割があり、これを「農業・農村の多面的機能」と呼んでいます。

岐阜県では、農業・農村の多面的機能や農業用施設の役割等を伝えることを通じて、農村資源の大切さについての理解を深めて頂くため、将来を担う子ども達や地域住民等を対象に「ぎふ田んぼの学校活動事業」を実施しております。

今回、美濃加茂市 山之上小学校 4年生児童を対象とした「ぎふ田んぼの学校活動事業（環境水路の生きもの調査）」を下記のとおり実施しました。

記

- 1 実施日時 平成28年7月7日（木）9:00～12:00
- 2 実施場所 美濃加茂市山之上町地内（山之上小学校東側環境水路 及び 山之上小学校）
- 3 参加者 山之上小学校 4年生児童22名 及び 教諭
他関係者 講師：安藤志郎先生
木曾川右岸用水土地改良区連合 4名
水資源機構美濃加茂管理所 3名
美濃加茂市役所 5名
岐阜県可茂農林事務所 6名
- 4 実施内容 ①開会（あいさつ：岐阜県可茂農林事務所）
②環境水路の説明（説明：岐阜県可茂農林事務所）
③農業用水の学習会（説明：水資源機構）
④水質の調査（説明：美濃加茂市）
⑤生きもの調査（講師：安藤志郎氏）
⑥生きもの学習会（講師：安藤志郎氏）
⑦閉会（お礼、感想等：山之上小学校）
- 5 実施目的 田んぼや農業用排水路等の豊かな生態系は、田んぼで米作りが営まれることにより成り立っており、これは「農業・農村の多面的機能」の一つです。
調査を行った「環境水路」は、岐阜県が平成15年度に環境に配慮した整備を行った農業用排水路で、山之上小学校の東側にあることから、児童らに農村資源の大切さについての理解を深めてもらうことを目的に、平成22年より毎年「ぎふ田んぼの学校活動事業（環境水路の生きもの調査）」を実施しています。

6 実施結果

【生きもの調査】「環境水路」の区間のうち、下流側L=120mの区間で実施しました。

魚類：カワムツ(10)、カワヨシノボリ(28)、ドジョウ(6)

甲殻類：スジエビ(38)、サワガニ(31)

貝類：カワニナ(427)、ヒメタニシ(10)、マシジミ(16)、マルタニシ(4)

水生昆虫：ヤゴ(4種類)(13)、コオイムシ(3)、トビゲラ(1)

両生類：カエル(2)

【生きもの学習会】講師の安藤志郎先生の指導のもと、児童が採取した生きものを種類ごとに分け、その数を記録しました。

採取した生きものの中からマルタニシについて、「マルタニシは、昔はこのあたりにたくさんいたが、最近は数が減っていた。今日はマルタニシが多く採取できたので、環境が良くなっているんだな、ということがわかりました。」という話をいただきました。

【児童らの感想】・魚は捕まえられなかったけど、貝がたくさん捕まえられました。

・タニシがどんなものかわかりました。

・タニシがたくさんいると環境がいいということなので、良かった。

7 実施状況(写真)

②環境水路の説明



③農業用水の学習会



④水質の調査



⑤生きもの調査



⑤生きもの調査



⑤生きもの調査



⑥生きもの学習会



⑥生きもの学習会

